

ご自由にお持ち帰り下さい



## 北中城若松病院 名誉院長・病院長あいさつ…1

介護老人保健施設 若松苑の取り組み	2
コロナ禍に負けない 通所リハビリの取り組み	3
小さな植物展	4
その人らしい人生を送ってもらうために	4
こころのサプリメント…天の御国で一番偉い人	5
Medical Healthy Recipe…大根	5
チャプレン室公式 LINE はじめました	6
介護老人保健施設 若松苑 理念	6



## 北中城若松病院 名誉院長・病院長あいさつ



北中城若松病院  
名誉院長  
あいさつ  
當銘 正彦

当院は田頭政三郎会長が、悲惨な境涯に置かれている認知症の老人を、何とか豊かな最期を送って貰いたいという一念から、精神科病院として1987年に118床でスタートした病院で、開設から35年の年月を数えます。

涌波淳子理事長が1997年にバトンを引き継いでから、診療所の開設や高齢者の生活支援のサービス事業等を次々に開拓してアガペ会と統べて発展する中で、現在223床の当院は2022年6月から、地域包括ケア病棟を併設する249床の病院へと事業の拡大を予定しています。



北中城若松病院  
病院長  
あいさつ  
喜屋武 幸男

このたび、當銘正彦先生の後任として北中城若松病院院長を拝命致しました喜屋武幸男と申します。就任のご挨拶を申し上げます。

私は沖縄県立病院や那覇市立病院で呼吸器内科医としての診療業務に邁進し、2020年4月に北中城若松病院に副院長として迎えていただいたからの2年間も無我夢中で勤めて参りました。COVID-19の蔓延したこの2年間ほど世界的に医療体制の危機を迎えたことは無かった事と思います。感染対策のために、家族、親族、友人とのつながりにも多大な影響が生じてしまいました。とりわけ疾病を負い、

県立病院を卒業した私は2015年に当院に入職し、翌2016年から6年間にわたり院長職に携わってきましたが、我が国における高齢者医療、認知症医療の困難な問題の奥の深さと多様性を痛感する日々でした。それでも澆刺と働く職員に囲まれて、いつもながら本当に楽しく仕事をしています。

そして2020年、那覇市立病院から喜屋武幸男先生を迎え入れ、本年4月、彼に院長職を引き継ぐことになりました。図らずも私の方は名誉院長、身に余る処遇頂き、もう暫くは当院での職務に邁進したいと思う所存です。

かたや東の窓外には世界遺産の「中城城址」を眺望し、こなた西の膝元には重要文化財民家に認定される「中村家」に隣接する閑静の地で、高齢者医療および認知症医療のより良いあり方を、これからも精進しながら模索して行きたいと思えます。

ただでさえ苦痛と孤独にさいなまれる患者さんとそのご家族にとってこれほど辛い時期はなかったと思います。その中でも、私共のアガペ会はその理念に掲げております「神の愛に生かされ、神の愛に生きる」のモットーに則り、療養者とそのご家族のご負担を少しでも和らげて差し上げたいと努力して参りました。

COVID-19の蔓延状態はまだまだ長きにわたり続くものと予測されておりますが、そのような中、救急病院の診療を後方支援として陰で支え、また地域住民の皆様の健康管理を支援するという意味での当北中城若松病院の果たすべき役割や求められている期待も年々大きくなってきております。私も新院長として、微力では御座いますが地域の医療・福祉に貢献致したく、全力を尽くす所存で御座いますので、益々のご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

# 介護老人保健施設 若松苑の取り組み

介護老人保健施設 若松苑 事務部長 大山 朝彦

介護老人保健施設とは、入院等により、在宅での生活が困難な状態となった高齢者や要介護者が、医師による管理のもと、専門職による健康管理を含む医療サービスや、在宅をイメージした日常生活サービスを受けながら、在宅での生活復帰を目指していく介護施設です。利用者が長く自立した生活が継続できるよう、医師や看護、介護、リハビリスタッフ等がチームとなって考えて、利用者の状態や目標に合わせたリハビリテーションやケアサービスの提供が求められます。

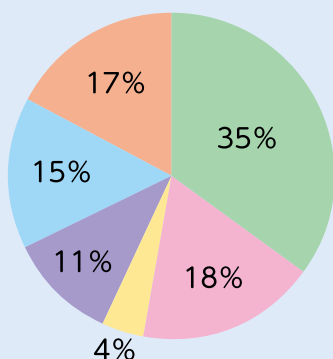
若松苑も上記のことを念頭に置きながら、その人が望む生活がおくれるように、ご家族と一緒に、ご本人にあった生活の場を考えて自立支援や在宅復帰に向けて取り組んでいるところです。法人の業績データにも載せましたが、2019年度と2021年度の退所先データを比較すると、病院への退所が53%から22%に減少し、反対に自宅や在宅系施設への退所が32%から46%へと増加しています。また、在

宅復帰・在宅療養支援機能を評価する『在宅復帰・在宅療養支援等指標』も2022年4月末時点で90点満点中86点まで伸び、『超強化型老健』の基準を維持することができているのは、在宅復帰施設としての役割をスタッフみんなが理解して取り組んでいることと、苑内外との連携強化に向けて働きかけているからだと思います。

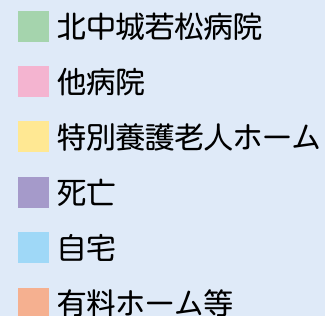
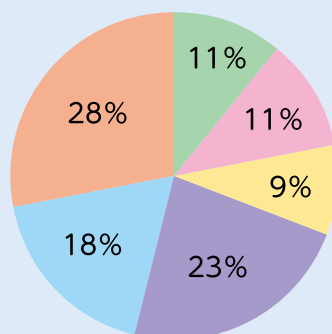
その他にも、2022年1月に、科学的根拠に基づいた効果的な介護サービスのためのデータ集積(LIFE)へ参加をはじめ、2月には若松苑訪問リハビリテーションもスタートさせました。まだ動き出したばかりですが、住み慣れた場所で、長くその人が望む生活が送れるようなサポートができるように、これからも学び取り組んでいきたいと思っています。

これからも、社会資源を有効に活用しながら、苑内外との連携を強化して、療養者の喜びや笑顔が感じられるようにスタッフと一緒に新たな視点で取り組んでいきます。

2019年度 退所先

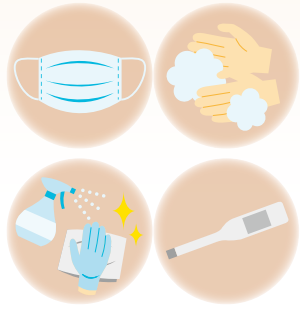


2021年度 退所先

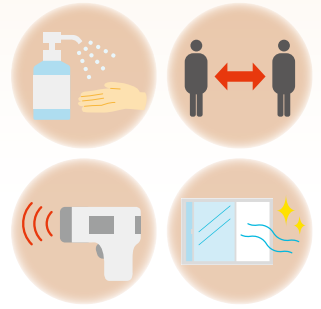


# コロナ禍に負けない 通所リハビリの取り組み

通所リハビリテーションきたなかぐすく 主任 泉川 徹 (准看護師)



全世界に新型コロナウイルス感染が蔓延し早2年が過ぎました。感染が蔓延し私たちの生活スタイルも大きく変わったかと思われまます。今回はコロナ禍における「通所リハビリテーションきたなかぐすく」での感染対策の取り組み状況についてお話したいと思います。



通所リハビリテーションきたなかぐすく (以下、通所リハ) は、リハビリ職員によるリハビリテーションを軸に、看護・介護職員が健康管理・ケア全般の支援をする事で、利用者様の在宅生活を支えるお手伝いをしている通所型の介護保険サービス事業所です。現在は登録者80名弱の利用者様がサービスを利用されています。

## 感染対策①

まず感染対策の基本として、1. 持ち込まない、2. 持ち出さない、3. 広げないが基本となります。医療施設では「標準予防対策 (スタンダードプリコーション)」という言葉があり、これはさまざまな感染症が発生する事を想定して、日頃から感染対策を実践するという基本姿勢でもあります。今回の新型コロナウイルスしかり、この標準予防対策が適応され、基本的な対策として手洗い (手指消毒)、マスク着用、手袋対応などの対策を日頃から実践する事が挙げられますが、新型コロナウイルス感染症に対しては、更に室内の換気、送迎時にも窓を開けての換気も含まれ、三密にならないよう席配置の工夫やテーブル上でのパーティション設置等の環境面での感染対策を実践しています。

## 感染対策②

職員の健康チェックを毎日実施し、体調不良時等には出勤を見合わせる等の配慮、ワクチン接種の推奨、新型コロナウイルス感染症に関する研修会等を法人全体で取り組んでいます。利用者様に対しては、送迎時の体温測定、マスク着用、手洗い、健康管理を徹底し、同居ご家族の体調不良時や県外より帰郷されている期間は利用を休止して頂く事を協力依頼し、通所リハでの感染発生や感染拡大を防ぐための対策を実践しており、皆さまのご協力のおかげもあり感染発生や感染拡大に至らず経過しております。

しかしながら感染対策ばかりに目を向けるのではなく、一番に優先されるのは利用者様へのサービス提供 (リハビリ、健康管理、ケア) が重要である事を忘れてはならない事を目標に掲げながら、今後も感染対策を実践しつつ、サービスの質を落とさないような努力が求められると感じますので、これからも通所リハ職員が一丸となって、より良いサービス提供を行う事と、マスク着用のなか職員や利用者様の笑顔が見れない機会が続いていますので、利用している間は笑い声が絶えないよう、コロナ禍を忘れるような日々も提供していきたいと思ひます。

# 小さな植物展

若松苑 入所介護課3階  
伊芸 豊史(介護福祉士)

2月下旬に、若松苑のアガペカフェで南米や南半球が原産の多肉植物を展示して、小さな植物展を開催しました。植物展を観に来た療養者様、ご家族、職員から、変わった樹形の植物に「きれいね」「かわいいね」「不思議な形ね」と喜んで、笑顔が多くみられました。また、植物にあまり興味がなかった療養者様、職員からも、育ててみたいとの声も多くあり、植物に興味を持っていただき、開催してよかったと感じました。10名の療養者様と職員へ植物のプレゼント抽選会も行い、喜びのなか大盛況に閉幕しました。

突然ですが皆さん、植物に必要な3要素はご存じでしょうか？一般的に植物には「光」「水」「空気」の3つが必要とされています。1つでも欠ければ元気がなくなり、やがては枯れる事もあります。私の場合さらにプラスして育てています。それは「毎日、手に取り観察し言葉をかける」「手で触れ刺激を与える」です。そうする事でより小さな変化に気づき病気の予防につながります。私自身も穏やかな気持ちになります。植物が発する成分(フィトンチッド)には心身を深いリラクゼーションにする効果があるとされ、その成分が作用していると思います。

コロナ禍の制限が多い生活のなか、皆様も可愛い多肉植物を育てて癒されてはいかがでしょうか？



## その人らしい人生を送ってもらうために…

第6病棟課長 小橋川 由美子

**第6病棟は、急性期病院での治療（脳卒中や骨折等）を終えて、少しでも元の生活や社会に戻るために集中的なリハビリテーションを行うための病棟、回復期リハビリテーション病棟です。**

急性期病院で『救われた命』を、回復期リハビリ病棟では『人生を救う』という重要な役割を担っている私達病棟職員は、『生活（人生）を支える』地域社会へしっかりと繋いでいきたい！日々そう思いながらチーム一丸となって心と身体の機能回復に向けて取り組んでいます。

退院支援の一環として、昨年度より日々行っている療法士による自宅訪問に、看護・介護職の同行も積極的に行い、退院支援に力を入れています。また、退院指導を行った患者

様が実際、自宅で困っていることがないかなど、確認のための退院後訪問も行っています。

退院後訪問では、患者様・ご家族の生活状況を確認させて頂くなかで、入院中に退院後の生活を見据えた具体的なアプローチがいかに大切か感じる事が多くあります。個別性を意識したチームアプローチを今後も継続して行っていくと同時に、退院後その人らしい生活を送れるようこれからも入院中の患者様へ温かい看護・介護の心をもってリハビリテーション看護の提供を行っていきたいと思います。

# 天の御国で一番偉い人

チャプレン室 田中 歩美

神の子イエス・キリストには、いつも弟子達がついていましたが、弟子達の中では、「誰が一番偉いか」ということが、度々論争になっていました。

ある日、弟子の一人が、イエス様に質問します。「天の御国では誰が一番偉いのでしょうか?」。すると、イエス様は小さな子どもを、弟子達の真ん中に立たせ、「この子どものように自分を低くする者が、天の御国で一番偉い人です」とお答えになりました。弟子達にとって、全く予想外の答えだったでしょう。

子どもは一人で生きていくことができないため、親や世話をしてくれる人を必要とし、信頼します。ですから、親も子どもに良いもの

のを与え、守り、育てていくことができます。しかし、もし子どもが親を必要としなければ、親がどんなに良いものを与えたいと願っても、それを受け取ることはできません。

同じように、「神様お願いします」と神様を求めて信頼していく人が、神様から良いものをいただき、結果的に偉くなることを、イエス様は教えられました。

神様は私たちを我が子として愛してくださる方です。神様を必要とし求めていく人に、神様は真の親として、必ず応えてくださいます。



チャプレン室  
「こころのサプリメント」

## Medical Healthy Recipe

## 大根

若松苑 栄養課  
内嶺 みゆき (管理栄養士)

大根は古くから貴重な野菜として栽培され、春の七草の一つで「すずしろ」とも呼ばれています。

根の部分はビタミン及びジアスターゼが含まれ、食べると消化が促進され腸の働きを整え、胃もたれや胸やけを防ぎます。葉はカロチンに富み、ビタミンや鉄分、カルシウム、食物繊維も多く含んでいます。先から根っこまで余す事なく食べられます。

### 【調理名】

- 菜飯
- ツナ炒め
- 大根おろし
- 酢の物
- 煮付
- おでん
- 汁物
- 漬物



大根葉は刻み一度茹でてから調理します

付け根は甘みがある

中央部は加熱用

先の方はやや苦みがある



## 大根の蜂蜜漬け

- 大根・・・400g
- 蜂蜜または砂糖・・・大さじ4

### 【作り方】

- ① 大根は5mm厚さの輪切りにします。
- ② 密閉容器に大根、蜂蜜または砂糖を入れ、2～3日置く。
- ③ 大根がしんなりしてきたら、出来上がりです。

せき、喉の痛みがある時、二日酔いにも症状を和らげる効果があります。ぜひお試し下さいね。

# LINE@

## チャプレン室 公式LINE はじめました。

いつでも どこでも どなたでも



- 今週のひとことメッセージ**・・・職員手帳に書かれた今週の聖書のことばから、短いメッセージ
- アガペチャンネル**・・・チャプレン室のトラクト（聞くトラクト版）ができました
- 祈りのリクエスト**・・・チャプレンの日々の祈りの中でリクエスト頂いたことを祈ります  
※個人情報にはじゅうぶん配慮を行っています。ご安心ください
- SNS**・・・アガペ会のHPに紹介されているこころのサプリ（ブログ）を紹介しています
- あなたにおんがく**・・・リラックスタイムのおとも、思わず口ずさみたくなる歌を紹介していきます
- 今日のハングル**・・・韓国語に興味ありますか？分かりやすく覚えやすい内容を、一緒に楽しく覚えましょう



まずは、「お友だち登録」  
からお願いします。

LINEアプリの  
「お友だち追加」  
➡「QRコード」から  
上のQRコードを読み取り  
ご登録してください。

**新型コロナウイルス感染対策の為、面会制限を行っております。**  
県内の感染状況により面会方法は異なるため、詳細はホームページでご確認下さい。

## 介護老人保健施設 若松苑 理念

障がいや疾病を抱えながらも その人が望む生活がおくれるように  
ご家族も共に支えていきたい

入院治療を終えた後たとえ、障がいや疾病が残ってもその人が望む生活がおくれるようにご家族も共に支えていきたいと思えます

生活歴や価値観等を尊重したその人が望む生活がおくれるようにご家族、地域の方々、関係機関等と協力しリハビリと介護を提供し生活を支える医療と看護をチームで提供していきたいと思えます

これからもできる限り、住み慣れた地域の中でその人が望む生活がおくれるように地域で支えあう、介護予防にも努めていきたいと思えます



アガペ会理念

アガペ(神の愛)に生かされ、アガペ(神の愛)に生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい(聖書 ヨハネ福音書13章34節)

《理念の意味》アガペとは「神様の愛」というギリシャ語です。私たち職員は、神様と周囲の多くの方々に愛されて生きてきた事感謝し、神様が愛されている目の前の療養者・利用者とそのご家族の皆さんの幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の方々の幸せを目指して医療とケアを提供していきます。

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311  
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- 一般病棟 ・ 回復期リハビリ病棟
- 認知症治療病棟 ・ 特殊疾患病棟
- 認知症デイケア あしやぎ
- 認知症疾患医療センター ☎/098-975-6122

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327  
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- 入所療養介護
- 短期入所療養介護
- 若松苑デイサービス
- 若松苑訪問リハビリテーション

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

3F ..... サービス付高齢者住宅 アガペファミリー ☎/098-935-4165

2F ..... グループホームわかまつ ☎/098-935-1021

1F ..... ファミリークリニックきたなかぐすく  
☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708

通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717

訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818

訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154

B1F ..... ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202

ケアプランステーション ゆい  
☎/098-935-3066・098-935-5968

地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093  
クリニック以外の事業所の FAX は 098-935-5855 (共通)

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1 (1F)  
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホーム若松 ぎのわん  
デイサービス若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新成 1-20-6  
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111  
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2  
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま  
新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3  
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)  
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<https://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

